



デバイス プロファイルの設定

デバイス プロファイルは、特定のデバイスに関連付けられている一連の属性（サービスや機能）から構成されます。デバイス プロファイルには、名前、説明、電話テンプレート、アドオンモジュール、ソフトキー テンプレート、Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) 情報、電話番号、登録済みサービス、短縮ダイヤル情報などが含まれています。デバイス プロファイルには、自動生成とユーザの 2 種類があります。ユーザにユーザ デバイス プロファイルを割り当てると、ユーザがデバイスにログインしたときに、そのユーザに割り当てたユーザ デバイス プロファイルが、デフォルト ログイン デバイス プロファイルとしてそのデバイスにロードされます。ユーザ デバイス プロファイルが電話機にロードされると、電話機はそのデバイス プロファイルの属性を使用します。

ユーザ デバイス プロファイルは、特定のデバイスのデフォルト ログアウト デバイス プロファイルとして割り当てることができます。たとえば、ユーザが電話機からログアウトすると、ログアウト デバイス プロファイルが電話機にロードされ、ログアウト デバイス プロファイルの属性がその電話機に指定されます。[Cisco Unified CallManager の管理] ウィンドウで、ユーザ デバイス プロファイルの作成、変更、削除を実行できます。ユーザ デバイス プロファイルがログアウト デバイス プロファイルとして使用されている場合は、ユーザ デバイス プロファイルを削除できません。

特殊なデバイス プロファイルである自動生成デバイス プロファイルは、Cisco エクステンション モビリティ用に電話機を設定して、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで [現在のデバイス設定を使用] を選択した場合に生成されます。自動生成デバイス プロファイルは、ログアウト デバイス プロファイルとして特定の電話機に関連付けられます。

Cisco Unified CallManager は、デバイス プロファイル デフォルトもサポートしています。ユーザ デバイス プロファイルが存在しない電話機のモデルにユーザがログインするときはいつでも、デバイス プロファイル デフォルトを使用します。Cisco エクステンション モビリティをサポートする各電話機のモデルのデバイス プロファイル デフォルトを作成するには、[デフォルトのデバイス プロファイル設定 (Default Device Profile Configuration)] ウィンドウを使用します。デバイス プロファイル デフォルトの最大数は、Cisco エクステンション モビリティをサポートする電話機のモデルの数を超えることはできません。デバイス プロファイル デフォルトの詳細については、[P.74-1 の「デフォルト デバイス プロファイルの設定」](#)を参照してください。

デバイス プロファイルの検索と設定をするには、次のトピックを参照してください。

- [デバイス プロファイルの検索 \(P.75-2\)](#)
- [新規ユーザ デバイス プロファイルの設定 \(P.75-3\)](#)
- [ユーザ デバイス プロファイルの削除 \(P.75-7\)](#)
- [自動生成されたデバイス プロファイルの更新 \(P.75-8\)](#)
- [電話番号の設定の概要 \(P.48-1\)](#)
- [電話番号の設定値 \(P.48-8\)](#)

デバイス プロファイルの検索

[デバイスプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Device Profiles)] ウィンドウを使用して、デバイス プロファイルを検索する手順は、次のとおりです。検索と一覧表示による検索機能を使用すると、ユーザ デバイス プロファイル、自動生成デバイス プロファイル、または両方のタイプのプロファイルを検索することができます。この機能は、次のカテゴリに基づいて、あらゆるタイプのデバイス プロファイルを検索します。

- [プロファイル名]
- [説明 (Description)]
- [デバイスタイプ (Device Type)]

手順

ステップ 1 [デバイス] > [デバイスの設定] > [デバイスプロファイル] の順に選択します。

[デバイスプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Device Profiles)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ドロップダウン リスト ボックスから、表示するデバイス プロファイルのタイプを特定するための検索テキストを選択し、[検索] をクリックします。



(注) データベースに登録されているデバイス プロファイルをすべて検索するには、テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、検索条件と一致するデバイス プロファイルが表示されます。

自動生成デバイス プロファイルまたはユーザ デバイス プロファイルに進む場合：

ステップ 3 [検索] ドロップダウン リスト ボックスから [ユーザ]、[自動生成済]、または [すべて] を選択し、[検索] をクリックします。

ステップ 4 検索条件と一致するレコードのリストから、ユーザ デバイス プロファイルまたは自動生成デバイス プロファイルを選択します。

デバイス プロファイルを削除する場合：

ステップ 5 複数のデバイス プロファイルを一度に削除するには、最初の列にあるチェックボックスを使用します。リスト内の最初のチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックします。また、個々のユーザ デバイス プロファイルを選択して、別々に削除することもできます。



(注) 自動生成デバイス プロファイルは削除できません。ユーザ デバイス プロファイルは、電話機がログアウトプロファイルとして使用している場合は、削除できません。

追加情報

P.75-10 の「関連項目」を参照してください。

新規ユーザ デバイス プロファイルの設定

ユーザ デバイス プロファイルには、デバイス プロファイル名、説明、電話テンプレート、ユーザ ロケール、拡張モジュール、ソフトキー テンプレート、MLPP 情報、電話番号、登録済みのサービス、および短縮ダイヤル情報などの属性が入っています。ユーザ デバイス プロファイルを追加または更新する手順は、次のとおりです。

始める前に

電話ボタン テンプレートが設定済みであることを確認してから手順に進んでください。詳細については、P.76-3 の「電話ボタン テンプレートの設定」を参照してください。

手順

ステップ 1 [デバイス] > [デバイスの設定] > [デバイスプロファイル] の順に選択します。

[デバイスプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Device Profiles)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 新しいデバイス プロファイルを追加する場合は、[新規追加] ボタンをクリックします。[デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。ステップ 3 に進みます。
- 既存のユーザ デバイス プロファイルを更新する場合は、適切なデバイス プロファイルを見つけ (P.75-2 の「デバイス プロファイルの検索」を参照)、ステップ 5 に進みます。



(注) ユーザ デバイス プロファイルを更新する前に、更新するデバイス プロファイルが Cisco Unified CallManager に設定されていることを確認してください。

ステップ 3 [デバイスプロファイルタイプ (Device Profile Type)] ドロップダウン リスト ボックスから、デバイス タイプを選択します。[次へ] をクリックします。

ステップ 4 [デバイスプロファイルプロトコルの選択 (Select the device profile protocol)] ドロップダウン リスト ボックスから、デバイス プロファイルのプロトコルを選択します。[次へ] をクリックします。

ステップ 5 [デバイスプロファイル名 (Device Profile Name)] フィールドに、固有の名前を入力します。この名前には、最長 50 文字まで指定できます。

ステップ 6 [説明 (Description)] フィールドに、このユーザ デバイス プロファイルの説明を入力します。この特定のユーザ デバイス プロファイルを説明する内容を入力してください。

ステップ 7 ユーザが保留操作を開始するときに再生されるオーディオ ソースを指定するには、[ユーザ保留音源 (User Hold Audio Source)] ドロップダウン リスト ボックスからオーディオ ソースを選択します。

オーディオ ソースを選択しない場合、Cisco Unified CallManager は、デバイス プールに定義されているオーディオ ソースを使用します。または、デバイス プールがオーディオ ソース ID を指定していない場合は、システム デフォルトを使用します。



(注) オーディオ ソースの定義は、[Music On Hold オーディオ ソースの設定 (Music On Hold Audio Source Configuration)] ウィンドウで行います。このウィンドウにアクセスするには、[メディア リソース] > [Music On Hold オーディオ ソース] の順に選択してください。

ステップ 8 [ユーザロケール (User Locale)] ドロップダウン リストから、そのデバイスで表示する言語を選択します。

ステップ 9 コール表示制限を設定して、内部コールが受信するすべての表示制限を無視するには、[プレゼンテーションインジケータを無視 (Ignore Presentation Indicators、内線コールのみ)] チェックボックスをオンにします。



(注) この設定は、変換パターンレベルで発信側の回線 ID 表示と接続側の回線 ID 表示の設定を組み合わせで使用してください。同時に、これらの設定値では、コール表示制限を設定して、各コールに対して発信側の回線または接続側の回線の表示情報を選択的に表示、またはブロックできます。コール表示制限の詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Call Display Restrictions 機能」の章を参照してください。

ステップ 10 CTI がこのデバイスを制御および監視できるようにするには、[CTI からデバイスを制御可能 (Allow Control of Device from CTI)] チェックボックスをオンにします。

ステップ 11 [電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] ドロップダウン リストから、電話ボタン テンプレートを選択します。



ヒント プレゼンス モニタリングのためにプロファイルに BLF/ 短縮ダイヤルを設定する場合は、BLF/ 短縮ダイヤル用に設定した電話ボタン テンプレートを選択します。設定の保存後、[割り当て情報 (Association Info)] ペインに [新規 BLF SD を追加] リンクが表示されません。BLF/ 短縮ダイヤルの詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」を参照してください。

ステップ 12 [ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウン リスト ボックスから、表示するソフトキーテンプレートを選択します。

ステップ 13 拡張モジュール フィールドの拡張モジュール ドロップダウン リストから電話テンプレートを選択して、このデバイス プロファイル用の 1 つまたは 2 つの拡張モジュールを設定できます。

ステップ 14 プライバシーを必要とする各電話機について、[プライバシー(Privacy)] ドロップダウン リスト ボックスから [On] を選択します。詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「割り込みとプライバシー」を参照してください。

ステップ 15 このユーザ デバイス プロファイルを MLPP 優先コールに使用する場合は、ドロップダウン リスト ボックスから MLPP ドメインを選択します。

ステップ 16 このユーザ デバイス プロファイルを MLPP 優先コールに使用する場合、[MLPP 表示 (MLPP Indication)] 設定をデバイス プロファイルに割り当てます。優先トーンを再生できるデバイスが MLPP 優先コールの発信時にその再生機能を使用するかどうかを指定します。

ドロップダウン リスト ボックスから設定を選択して、このデバイス プロファイルに割り当てます。オプションは次のとおりです。

- **[Default]** : このデバイス プロファイルは、関連するデバイスのデバイス プールから [MLPP 表示 (MLPP Indication)] 設定を引き継ぎます。
- **[Off]** : このデバイスは、MLPP 優先コールの表示の制御も処理もしません。
- **[On]** : このデバイス プロファイルは、MLPP 優先コールの表示を制御し処理します。



(注) [MLPP 表示 (MLPP Indication)] を [Off] または [Default] (デフォルトは [Off] の場合) に設定し、かつ [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] を [Forceful] に設定するという組み合わせで、デバイス プロファイルを設定することはできません。

ステップ 17 このユーザ デバイス プロファイルを MLPP 優先コールに使用する場合、[MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] 設定をデバイス プロファイルに割り当てます。進行中のコールを優先できるデバイスが MLPP 優先コールの発信時にその優先機能を使用するかどうかを指定します。

ドロップダウン リスト ボックスから設定を選択して、このデバイス プロファイルに割り当てます。オプションは次のとおりです。

- **[Default]** : このデバイス プロファイルは、関連するデバイスのデバイス プールから [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] 設定を引き継ぎます。
- **[Disabled]** : このデバイスは、優先順位の高いコールの完了に必要な場合、優先順位の低いコールを優先しないようにします。
- **[Forceful]** : このデバイスは、優先順位の高いコールの完了に必要な場合、優先順位の低いコールを優先するようにします。



(注) [MLPP 表示 (MLPP Indication)] を [Off] または [Default] (デフォルトが [Off] の場合) に設定し、かつ、[MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] を [Forceful] に設定するという組み合わせで、デバイス プロファイルを設定することはできません。

ステップ 18 [ログインユーザ ID(Login User Id)] ドロップダウン リスト ボックスから、有効なログイン ユーザ ID を選択します。



(注) ログアウト プロファイルとしてユーザ デバイス プロファイルが使用される場合、その電話機に関連付けられるログイン ユーザ ID を指定します。ユーザがこのユーザ デバイス プロファイルからログアウトした後では、その電話機はこのログイン ユーザ ID に自動的にログインされます。

ステップ 19 [保存] をクリックします。

[割り当て情報 (Association Info)] から、プロファイルの電話番号と短縮ダイヤルを設定できます。適切な設定値については、[P.48-1](#) の「電話番号の設定の概要」と [P.70-1](#) の「Cisco Unified IP Phone の設定」の項、および『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」の項を参照してください。

ステップ 20 [保存] をクリックします。



(注) ユーザ デバイス プロファイルに加えた変更を有効にするには、デバイスにログインする必要があります。

追加情報

[P.75-10](#) の「関連項目」を参照してください。

ユーザ デバイス プロファイルの削除

ユーザ デバイス プロファイルを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

デバイス プロファイルがデバイスに割り当てられている場合、そのデバイス プロファイルは削除できません。デバイス プロファイルを使用しているデバイスを検索するには、[デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリストボックスから [依存関係レコード] リンクを選択します。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4 の「依存関係レコードへのアクセス」](#)を参照してください。使用されているデバイス プロファイルを削除しようとする、Cisco Unified CallManager はメッセージを表示します。現在使用されているデバイス プロファイルを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するデバイス プロファイルを使用しているデバイスすべてに、別のデバイス プロファイルを割り当てる。
- 削除するデバイス プロファイルを使用しているデバイスを削除する。

手順

ステップ 1 削除するユーザ デバイス プロファイルを検索します。[P.75-2 の「デバイス プロファイルの検索」](#)を参照してください。

ステップ 2 [デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウで、[削除] をクリックします。

この操作を実行すると取り消せないことを確認するメッセージが表示されます。

ステップ 3 デバイス プロファイルを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。



(注) ユーザ デバイス プロファイルが、デフォルトのログアウト デバイス プロファイルとして設定されている場合は、そのデバイス プロファイルを削除できません。ログアウト デバイス プロファイルを削除する場合は、そのデバイス プロファイルに対するログアウト デバイス プロファイルの指定を変更し、別のデバイス プロファイルをその電話機のログアウト デバイス プロファイルとして設定する必要があります。ユーザ デバイス プロファイルがログアウト デバイス プロファイルではなくなった後、削除できます。

追加情報

[P.75-10 の「関連項目」](#)を参照してください。

自動生成されたデバイス プロファイルの更新

ここでは、自動生成デバイス プロファイルの更新方法を説明します。自動生成デバイス プロファイルは変更できますが、削除したりプロファイル名を変更したりすることはできません。

始める前に

次の手順に進む前に、自動生成デバイス プロファイルが設定済みであることを確認します。詳細については、P.70-3 の「Cisco Unified IP Phone の設定」と『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「自動生成されたデバイス プロファイル」を参照してください。

手順

ステップ 1 更新する自動生成デバイス プロファイルを検索します。P.75-2 の「デバイス プロファイルの検索」を参照してください。

ステップ 2 [デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウから、その自動生成デバイス プロファイルに必要な変更を加えます。次に、[保存] をクリックします。

フィールドの説明については、P.75-3 の「新規ユーザ デバイス プロファイルの設定」を参照してください。ただし、次のような相違点があります。

- [SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] を設定する場合は、ドロップダウン リスト ボックスから (プレゼンス機能専用の) SUBSCRIBE コーリングサーチスペースを選択します。SUBSCRIBE コーリングサーチスペースによって、この自動生成デバイス プロファイルを持つ電話機からのプレゼンス要求を Cisco Unified CallManager がルーティングする方法が決まります。この設定により、この自動生成デバイス プロファイルを持つ電話機のプレゼンス (SUBSCRIBE) 要求に対して、コール処理サーチスペースとは別のコーリングサーチスペースを適用できます。

ドロップダウン リストから、エンドユーザ用に別のコーリングサーチスペースを選択しない場合、[SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] はデフォルトで [None] になります。

コーリングサーチスペースの設定方法については、P.42-1 の「コーリングサーチスペースの設定」を参照してください。

- [プレゼンスグループ (Presence Group)] を設定する場合は、ドロップダウン リスト ボックスから (プレゼンス機能専用の) 自動生成デバイス プロファイルのプレゼンスグループを選択します。このグループにより、この自動生成デバイス プロファイルを持つ電話機が監視できる対象が指定されます。

プレゼンス認可は、プレゼンスグループと連携して、グループ間のプレゼンス要求を許可またはブロックします。グループ間の権限の設定、およびプレゼンスをエクステンション モビリティと連携させる方法については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。

- 電話番号または SIP URI を監視するための BLF/短縮ダイヤル ボタンを追加または変更する場合は、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」の章を参照します。

変更内容が、この自動生成デバイス プロファイルに表示されます。



(注) 自動生成デバイス プロファイルに加えた変更を有効にするには、デバイスからログアウトする必要があります。

追加情報

P.75-10 の「関連項目」を参照してください。

自動生成デバイス プロファイル用の新規電話番号の設定

始める前に

次の条件を満たしていることを確認してから手順に進んでください。

- 自動生成デバイス プロファイルが設定済みであること。詳細については、P.70-3 の「Cisco Unified IP Phone の設定」を参照してください。
- 自動生成デバイス プロファイル用の新規電話番号を追加するには、[デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウを使用する。詳細については、P.75-2 の「デバイスプロファイルの検索」を参照してください。

手順

ステップ 1 [デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウで、このウィンドウの左側にある電話番号のリストから、新しい DN を追加する回線を選択します。

[電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。電話番号の設定の詳細については、P.48-1 の「電話番号の設定の概要」を参照してください。

ステップ 2 適切な設定値を入力します (P.48-8 の「電話番号の設定値」を参照)。

ステップ 3 [保存] をクリックします。

ウィンドウの内容が更新され、設定された設定値が表示されます。



(注) [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウからデバイスの更新、削除、および再起動を行うには、これらの機能に対応するボタンをクリックすることもできます。電話番号を削除すると、回線からその電話番号が削除されます。この削除操作を元に戻すことはできません。

ステップ 4 [デバイスの設定] リンクをクリックして、[デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウに戻ります。

ウィンドウの左側の適切な回線に新しい電話番号が表示されます。



(注) 電話機の設定値を更新するときに、自動生成デバイス プロファイルにその電話機とは異なるデフォルト値がある場合、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウからログアウトデバイス プロファイルとして [現在のデバイス設定を使用] を選択すると、そのデバイスプロファイルの設定値が上書きされます。



(注) Synchronization Between Auto Device Profile and Phone Configuration エンタープライズ パラメータの値を [True] (デフォルト) に設定します。この設定により、電話機が更新されたときに、自動生成デバイス プロファイルも更新されることが確実にあります。

追加情報

P.75-10 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- デバイス プロファイルの検索 (P.75-2)
- 新規ユーザ デバイス プロファイルの設定 (P.75-3)
- ユーザ デバイス プロファイルの削除 (P.75-7)
- 自動生成されたデバイス プロファイルの更新 (P.75-8)

電話番号

- 電話番号の設定の概要 (P.48-1)
- 電話番号の設定値 (P.48-8)

プレゼンス

- 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」